

指定管理者からの令和7年度事業報告概要

施設名	岡山県青少年教育センター閑谷学校
施設所在地	備前市閑谷 7 8 4

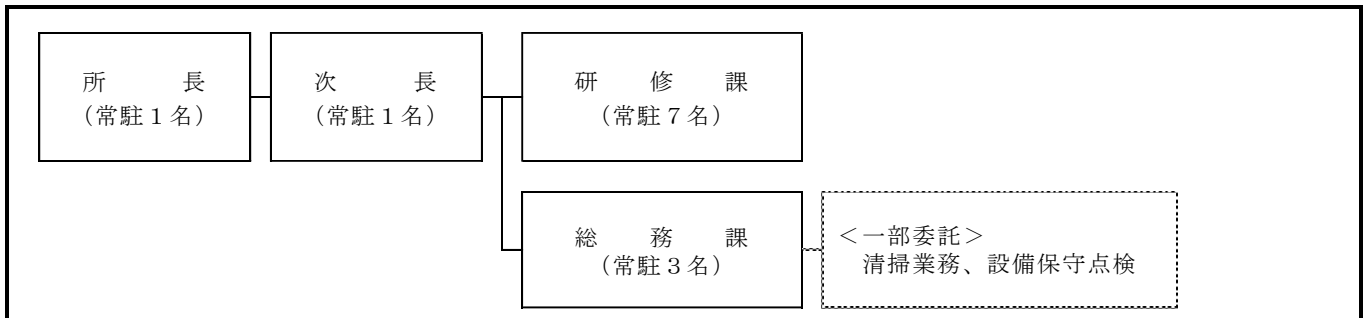
【指定管理者の概要】

名 称	公益財団法人特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会	代表者	理事長 國友 道一
所在地	備前市閑谷 7 8 4		

【指定管理の概要】

指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	報告期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
管理業務の内容	・センターの施設等の維持管理に関すること。 ・センターの施設等の利用の許可に関すること。 ・センターの運営に関すること。		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		施設利用			合 計
許可 件数	7年度	287			287
	6年度	291			291
	増 減	△4			△4

【維持管理の業務の実施の状況】

項 目	内 容
施設等の維持管理業務	・維持運営業務 ・保守点検業務 ・清掃業務 ・警備業務
施設利用許可業務 (4月～3月)	施設利用 (287件) [内訳] 小学校 30件 中学校 61件 高等学校 16件 大学・一般 180件
自主企画事業	計13事業 [主な内容] ・グリーンズのつどい ・親子キャンプ (年2回) ・備前ものづくり教室 ・森のようちえん (年2回) ・宿題合宿in閑谷 ・このゆび☆とまれ (年2回) ・親子でアウトドア料理 ・キッズチャレンジキャンプ 等

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

	施設使用料			合 計
収 入 額	7,731,118			7,731,118
利用件数	287			287
減 免 額	145,180			145,180
減免理由	要保護又は準要保護の認定を受けている児童生徒等			

指定管理者からの令和7年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		7 年度	対前年度増減額	6 年度	備 考
収 入 額 A		102,671,952	3,792,562	98,879,390	7 年度収入額 ・指定管理料のうち賃金及び物価の上昇に応じた増額分 6,196,998円 (財源は全額国庫) ・その他の主なもの 出前講座等の謝金 交通費 107,400円
内 訳	指定管理料	88,250,998	2,841,170	85,409,828	
	利用料金収入	7,731,118	412,586	7,318,532	
	事業収入	6,558,518	414,974	6,143,544	
	その他	131,318	123,832	7,486	
支 出 額 B		102,669,391	3,791,211	98,878,180	【主な増減内容等】 (収入) ・暖房使用量増加に伴う暖房使用料の増 426,680円 (支出) ・賃金上昇に伴う人件費の増 2,803,633円 ・リーフレット印刷製本による事業費の増 463,547円
内 訳	人件費	52,108,393	3,412,517	48,695,876	
	管理運営費	42,274,301	△214,002	42,488,303	
	事業費	8,286,697	592,696	7,694,001	
	その他	0	0	0	
収 支 額 A－B		2,561	1,351	1,210	
県への納入金		—	—	—	
実質的な県負担額		82,054,000	0	82,054,000	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理運営状況	①適切な施設管理の履行	B	事業計画に沿って適切な管理が履行されていた。
	②法令等の遵守状況	B	関連法令に基づく義務が適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B	危機管理マニュアルに基づき、安全性を確保した管理運営が履行されていた。
	④財産の適切な管理	B	施設・設備の紛失等はなく保守管理等の適切な管理が履行されていた。
導入効果	①利用状況	C	学校の行事見直し等により、中学校の利用件数及び利用者数が減少し、全体の利用者数が減少した。 【利用件数】 R7： 287件 ← R6： 291件 【うち中学校】 R7： 61件 ← R6： 69件 【利用者数】 R7： 26,758人 ← R6： 28,123人 【うち中学校】 R7： 7,844人 ← R6： 10,030人
	②収支状況	B	事業計画に従い効率的な事務執行がなされていた。
	③サービス向上	B	利用者アンケートの活用、研修プログラムの検討、指導方法の見直しを行い、よりよい研修となるよう研修主催者へ助言を行い、サービス向上に積極的に取り組んだ。
管理運営業務全般		B	協定書、事業計画書、収支計画書に基づき、適切に管理運営業務が実施されるとともに、サービス向上の取組もなされた。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。 B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。